

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	環境行動研究小委員会		主 査 名：西出和彦 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会		委員長名：布野修司
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	環境行動研究の視点から、実際に体験される環境・場所の質を分析・評価するための理論構築を行うとともに、人と環境との豊かな関係を紡ぎ出す環境・場所の創出・維持を目指す。 ・研究会やホームページ開設を通して、「体験される環境・場所の質」に関わる研究成果の整理、および体験する人にとって価値のある環境・場所事例の収集と評価を行う。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有り(林田大作/伊藤俊介 2名を採用)		
	足立啓(和歌山大)、伊藤俊介(東京電機大)、大野隆造(東京工業大)、小松尚(名古屋大学)、佐藤将之(早稲田大)、鈴木健二(鹿児島大)、鈴木毅(大阪大)、高橋 鷹志(早稲田大)、橋弘志(実践女子大)、西田徹(武庫川女子大)、西出和彦(東京大)、林田大作(和歌山大)、舟橋國男		
設置 WG (WG 名：目的)	場所研究WG： 環境行動研究の視点からの「体験される場所の質とデザイン」に関する単行本の出版の具体的な編集作業を行う。またその準備段階として資料をまとめ公開する作業をおこなう。		
2006 年度予算	245,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)(場所研究 WG 5 回)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 下新庄さくら園(大阪)見学会(2006.12.23)参加者数 約 20 名 2. 研究会「フリースクールにおける環境行動研究」(2007.3.26 予定)参加者数 約 20 名程度を予定
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1.居場所づくりの”当事者”の視点から読み解く場所の計画 下新庄さくら園(大阪)の見学会と座談会を行った。運営者と他分野の専門家も参加し、その居場所づくりの”当事者”による”語り”と他分野から見た評価の視点から、居場所作りの方法論とその質の分析・評価手法について議論することができた。 2.単行本「体験される場所の質とデザイン」出版計画 場所の体験・評価・実践に関し、内容収集やその構成に関する議論を積み重ねることができた。
委員会活動の問題点・課題	1.出版計画は順調に進んでいるが、出版社等、具体化を進める上での課題が未だある。 2.ホームページの開設が課題である。